

校章・校旗のゆらい

創立当時、生徒から「帽子に校章がないのがいやだ」という声があり、生徒から募集したところ「白樺の葉がいい」ということから、職員と生徒が共同で白樺の葉を图案化して校章が制定されました。

また、校旗については、昭和41年1月に北海道教育庁財務課長、故原尻修三氏の意思により、夫人洋子氏より寄贈を受けました。

昭和56年、学校名が改称されたことにより新校旗に作り換えられ、今日に至っています。



校訓のゆらい

「自主」「自立」「自省」は、当初「日常生活目標」として生徒の身近な目標となっていました。その後、具体目標としておさえられていましたが、平成10年に現在の教育目標となり、あわせて校訓として位置付けられました。現在も目指す生徒像として、白樺の教育に根づいています。そのおさは、次のとおりです。

「自主」…自分で考え判断し、責任を持って行動する

「自立」…障害の状態や発達の段階等に応じて、主体的に

自己の能力を可能な限り発揮すること

…社会参加する資質を備えること

「自省」…自分や他者の言動や周りの様子、自分の良さに気づき生かす

…自己と他者の比較対照と見直しや振り返り

…自己の言動と社会的、一般的な事項との比較対照と見直しや振り返り

